

務川慧悟 ALL CHOPIN

「1842年のショパン」を辿る——務川慧悟、時を超える音の旅へ。

2019年ロン＝ティボー＝クレスパン国際コンクール第2位、2021年エリザベート王妃国際音楽コンクール第3位。

世界が注目するピアニスト、務川慧悟が紡ぐ、ショパンへのオマージュ。

彼が深く敬愛する作曲家ショパン。

その人生の転機ともいえる「1842年」に光をあて、同年に生まれた作品を制作順にめぐる特別なプログラムをお届けします。

この年、ショパンは円熟の32歳。

そして今、同じ32歳を生きる務川慧悟。

——同じ年齢を生きる2人が、時を越えて出会う。

2人が交錯する瞬間。

深化し続ける務川の表現力で紡がれる、必聴のプログラムです。どうぞご期待ください。

チケット
(全席指定・税込)

一般発売: 11.21(金) 10:00～
5,000円 / テルサメンバーズ有料会員価格 4,500円

※メンバーズ有料会員価格でご購入いただけるのは山形テルサ(窓口及びWEBチケット)に限ります。

プレイガイド

イープラス <https://eplus.jp/keigotochopin/>
山形テルサ [窓口] 9:00～17:00 / 水曜休館 ※祝日の場合は翌平日
[WEBチケット] 24時間受付 <https://p-ticket.jp/yamagataterrsa>
富岡本店 023-641-0644 (10:30～18:30 / 火曜定休 ※その他臨時休業の場合あり)

PROGRAM

ショパン (1842年):
3つのマズルカ Op.50
即興曲 第3番 変ト長調 Op.51
バラード 第4番 ヘ短調 Op.52
ポロネーズ 第6番 変イ長調「英雄」Op.53
スケルツォ 第4番 ホ長調 Op.54
※本公演では1842年制作以外のショパンの作品も演奏する予定です。

※未就学児のご入場はご遠慮願います。
※車イスでご鑑賞の方は、チケット購入前に事前に山形テルサまでご連絡ください。
お問合せ: 山形テルサ 023-646-6677 (9:00～17:00 / 水曜休館)

山形テルサホール: 〒990-0828 山形市双葉町1-2-3 / 023-646-6677 (9:00～17:00 / 水曜休館)
お問合せ: イープラス pp-info@eplus.co.jp / 050-3185-6449 (10:00～18:00 土日祝を含む)

お申込みはこちら



イープラス



山形テルサWEBチケット



©Yuji Ueno

務川慧悟 ピアノ

Keigo Mukawa, Pianist

2021年エリザベート王妃国際音楽コンクールにて第3位入賞。2019年ロン＝ティボー＝クレスパン国際コンクールにて第2位入賞。現在、日本とフランスを拠点に演奏活動を行っており、バロックから現代音楽までとレパートリーは幅広く、各時代、作曲家の様式美が追究された演奏、多彩な音色には定評がある。また、現代のピアノのみならず、古楽器であるフォルテピアノでの奏法の研究にも取り組み、造詣を深めている。

これまでにフランス、ベルギー、スイス、ラトビア、ドイツ、イタリア、ポーランド、オランダ、南アフリカ、中国、台湾、韓国など各国で演奏会を開催、プラハ・フィルハーモニー管弦楽団、フランス国立管弦楽団、ロレーヌ国立管弦楽団、ベルギー国立管弦楽団、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団の他、国内でも主要オーケストラと共演を重ねている。

2025年7月には、ラヴェル生誕150年を記念しピアノ作品全曲演奏会を開催。精緻な表現と詩的な響きによる圧巻の演奏で、各地の聴衆を魅了し絶賛を博したことは、記憶に新しい。

CD「ラヴェル：ピアノ作品全集」(NOVA Record)をリリース。同盤はEtcetera Recordsより再リリースされ、フランスの「Le Monde」紙をはじめとする各メディアで取り上げられた他、フランスの音楽批評サイト「Res Musica」が選出する《Clef d' Or ResMusica 2024》を受賞。フランス人以外のピアニストとしての受賞は極めて異例であり、現地での高い評価を裏付けるものとなった。近年は文筆にも活動の幅を広げ、『小説すばる』で連載中のエッセイ「ピアノとワインと、ときどきパリ」が好評を博している。

令和2年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞、第33回日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、第33回出光音楽賞受賞。



公式サイト



X



Instagram



YouTube